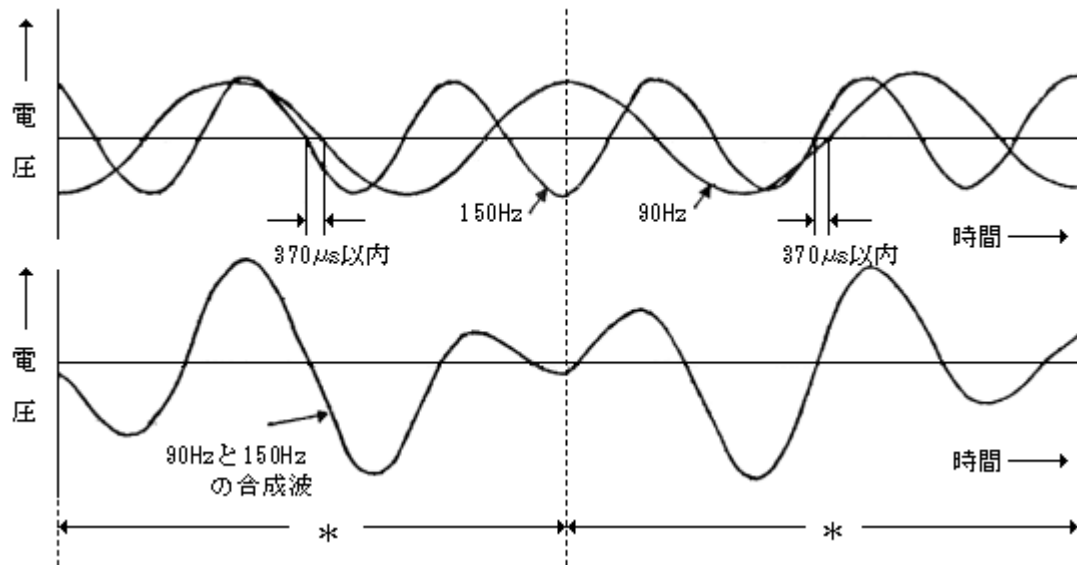


別図第十二号 変調信号の位相特性(第45条の12の7関係)



注 *印：90Hzと150Hzの合成波の半サイクル

1 ローラカイザ

90Hzの位相と150Hzの位相は、半コース・セクタ内において90Hzと150Hzの合成波の半サイクルごとに、時間軸においてそれぞれ正傾斜又は負傾斜で $370\mu\text{s}$ 以内の差で合致することとなるものであること。

2 グライド・パス

90Hzの位相と150Hzの位相は、半ILSグライド・パス・セクタ(ILSグライド・パスを含む垂直面において、DDMの値が0.0875以下となる扇形状の区域であつて、ILSグライド・パスを含むものをいう。)内において90Hzと150Hzの合成波の半サイクルごとに、時間軸においてそれぞれ正傾斜又は負傾斜で $370\mu\text{s}$ 以内の差で合致することとなるものであること。